

日本（東京）では例年より遅く桜が咲き始めましたが、ここセネガルでは3月後半から例年になく寒い日が続きました。皆様如何お過ごしでしょうか。

4月2日にマッキー・サル大統領が退任し、バシル・ジョマイ・ファイ大統領が誕生しました。44歳という若い大統領が生まれました。

1 大統領選挙

先月の大統領選挙に関して個人的にいくつか思うところがあります。

まず、セネガル国民の大統領選挙に対する関心の高さに感心しました。セネガル人は政治好きというふうに一般的に言われていますが、この1ヶ月に本使がお会いした多くの方々も老若男女を問わず選挙について自分の考えをしっかりと持っていました。また、街の中でも、ラマダン中で食事をとれないという厳しい条件下にもかかわらず、あちこちで集会が開かれて活発な意見交換が行われていました。

次に、選挙報道です。選挙運動の期間中に数社のTV局を視察する機会がありましたが、招かれた候補者に対して政治評論家が意見を述べ、視聴者から質問が出され、やりとりを会場の聴衆が聞いているといった感じで日本の選挙でもおなじみの光景がありました。技術的には先進国の報道のように全てがオンタイムで進むほどのきちんとした報道体制ではありませんが、選挙報道の基本的な形がありました。最初は仏語で始まるのですが、議論が白熱するとウォルフ語になってしまい、やりとりの内容が聞き取れなかったことが残念でした。最後に、変革に向けた国民の民意の強さです。どんな選挙でも選挙の予測は難しいのですが、今回の選挙について本使がお会いした多くの方々も難しい選挙だと述べていました。バ候補は直前まで首相職を務めてサル大統領の支持を得て組織力を活用していたのに対して、ファイ候補は人気はあるものの選挙戦の途中まで拘禁されていて自由の身ですらなかったため、客観的には資金力や動員力でバ候補が圧倒的の優位に立っていました。組織力VS人気といった構図になっていて選挙結果を予想することがとても難しかったです。結果はファイ候補の圧勝でした。バ候補は現職の強みをいかして各地で魅力的な公約を表明していましたが、こうした政権側による強い働きかけにもかかわらず、最後は国民多くが政治や社会を変えることを選びました。

今回の選挙はアフリカの地でも民主主義と「法の支配」がきちんと機能していることを世界に示したと思います。

2 大統領就任式

2日に、ジャムナジョの博覧会会場を利用してファイ大統領の就任式が行われ、本使も招待されました。近隣アフリカ国首脳、外交団、政治行政関係者、報道陣、支持者等3000人程が参列しました。会場の外にも支持者が集まりましたが、場所がダカールから離れたジャ

ムナジョであったため、支持者が大挙して押し寄せたわけではなく、大きな混乱はありませんでした。

憲法評議会議長が式を主催し、大統領が宣誓をすると会場から歓声があがりました。その後、大統領の就任演説が行われ、新大統領は参列した各国首脳と一人一人挨拶をしましたが、各国首脳と並ぶとファイ大統領の若さが際立っていました。

前憲法評議会議長は冒頭演説で大統領選挙においてセネガルの民主主義と「法の支配」が強化されたとの意義を強調し、また、ファイ大統領は憲法を守り国家の安定と発展のために努めていくとの決意を表明しました。

セネガルにおいて民主的プロセスを経て国民の強く支持する若い大統領が誕生したことは、政治的不安定に苦しんでいるアフリカの周辺地域に好ましい影響を与えることになるだろうと期待します。

3 ファイ新政権

本3日にも組閣が行われ政権が本格的に立ち上がります。

新政権は前政権の活動を見直しながら政策を進めるでしょうから、重要な問題について政策変更が行われる可能性があります。その影響はセネガルで活動している日本の企業にも及ぶ可能性が排除されません。大使館としては、積極的に情報収集に努め、皆様の当地での活動に大きな影響が出ることを無きよう対応していきたいと思っております。4月9日に日本企業連絡会を開き、新政権に対する企業の皆様の見解や要望をお聞きする予定です。ご関心ある方は是非参加してください。